

基幹施設認定申請書

年 月 日

心臓血管外科専門医認定機構 御中

当施設は心臓血管外科専門医認定制度規則第4章第13条に規定する
心臓血管外科認定修練施設として認定を申請します

基幹施設名

基幹施設
施設長氏名

公印

基幹施設住所 〒

都道
府県

Homepage
address(URL)

基幹施設TEL.

基幹施設FAX.

修練責任者氏名

印

1つ以上に○印をつけて下さい

心臓血管外科専門医修練指導者

日本胸部外科学会指導医で心臓を専門としている

日本心臓血管外科学会国際会員

更新した心臓血管外科専門医

修練責任者TEL.

修練責任者FAX.

修練責任者E-Mail

施設内容調書

年 月 日

施設名

基幹施設 関連施設 (どちらかに○印をつけてください)

新規 更新 (どちらかに○印をつけてください)

修練責任者氏名

年間手術症例数

年	年	年	平均例数
例	例	例	例

様式8-1～8-3の年ごとの総合計の数値となります
基幹施設は心臓血管外科手術が3年間平均して100例／以上あること。
関連施設は心臓血管外科手術が申請の前年に50例以上施行していること。ただし、更新申請の場合は、最近3年間平均して50例／年以上を施行していること。
原則として手術の内容は手術術式難易度表(A)(B)(C)にあげられているもの
ただし、透析用シャント手術は省きます

実地修練計画 すべての関連施設を含めた心臓血管外科専門医修練カリキュラムを施設・様式2-2-2-5に書いて下さい

研修項目 研修項目としてある場合、具体的な内容を書いて下さい(全角で約180文字以内)

1. 医の倫理に基づいた適切な態度と習慣を身につける 有 無

2. 医療安全管理セーフティマネジメントの研修を受ける (修練医が参加していること) 有 無

院内での医療安全委員会等に修練医の参加実態を示す書類(委員会名, 医療安全推進への参加プログラム)を提出して下さい

3. 生涯学習を行う方略の基本を習得し実行できる 有 無

4. 医療経済・保険について研修する 有 無

関連施設を含めた心臓血管外科専門医修練カリキュラム 1年目

「心臓血管外科専門医修練カリキュラム作成に関する基本的概念」を参考に
修練年次別に教育方針・方策(症例の種類, 症例数, 手術の範囲)をご記入ください
なお、研修希望者には閲覧可能とする予定です

基幹施設名

教育方針

方策

・症例の種類

・症例数

・手術の範囲

カリキュラムは最低3年以上必要です

関連施設を含めた心臓血管外科専門医修練カリキュラム 2年目

「心臓血管外科専門医修練カリキュラム作成に関する基本的概念」を参考に
修練年次別に教育方針・方策(症例の種類, 症例数, 手術の範囲)をご記入ください
なお、研修希望者には閲覧可能とする予定です

基幹施設名

教育方針

方策

・症例の種類

・症例数

・手術の範囲

カリキュラムは最低3年以上必要です

関連施設を含めた心臓血管外科専門医修練カリキュラム 3年目

「心臓血管外科専門医修練カリキュラム作成に関する基本的概念」を参考に
修練年次別に教育方針・方策(症例の種類, 症例数, 手術の範囲)をご記入ください
なお、研修希望者には閲覧可能とする予定です

基幹施設名

教育方針

方策

・症例の種類

・症例数

・手術の範囲

カリキュラムは最低3年以上必要です

関連施設を含めた心臓血管外科専門医修練カリキュラム 他

「心臓血管外科専門医修練カリキュラム作成に関する基本的概念」を参考に
修練年次別に教育方針・方策(症例の種類, 症例数, 手術の範囲)をご記入ください
なお、研修希望者には閲覧可能とする予定です

基幹施設名

教育方針

方策

・症例の種類

・症例数

・手術の範囲

カリキュラムは最低3年以上必要です

関連施設推薦書

年 月 日

心臓血管外科専門医認定機構 御中

基幹施設名

基幹施設
修練責任者氏名

印

下記施設を心臓血管外科専門医認定制度規則第4章第14条に規定する
関連施設として推薦します

記

関連施設名

関連施設長氏名

関連施設住所 〒

 都道
府県

関連施設
修練責任者氏名

1つ以上に○印をつけて下さい

心臓血管外科専門医修練指導者

日本胸部外科学会指導医で心臓を専門としている

日本心臓血管外科学会国際会員

更新した心臓血管外科専門医

関連施設承諾書

年 月 日

基幹施設名

基幹施設
修練責任者氏名

当施設は心臓血管外科専門医認定制度にもとづき

(基幹施設名) の

関連施設となることを承諾します

関連施設名

関連施設長氏名 公印

関連施設住所 〒 都道府県

Homepage
address(URL)

関連施設TEL.

関連施設FAX.

心臓血管外科専門医・臨床工学技士勤務証明書

年 月 日

施設名

基幹施設 関連施設 (どちらかに○印をつけてください)

修練責任者氏名

心臓血管外科
専門医認定番号

1つ以上に○印をつけてください

日本胸部外科学会指導医で心臓を専門としている
(指導医選定番号)

日本心臓血管外科学会国際会員 (会員番号)

更新した心臓血管外科専門医 (専門医番号)

心臓血管外科専門医・・・修練責任者以外(修練指導者の方は右の欄にチェックして下さい。) 修練指導者

氏名	<input type="text"/>	心臓血管外科 専門医認定番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>
氏名	<input type="text"/>	心臓血管外科 専門医認定番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>
氏名	<input type="text"/>	心臓血管外科 専門医認定番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>

体外循環技術認定士は認定番号も記載して下さい。 体外循環技術認定士

臨床工学技士	氏名	<input type="text"/>	登録番号	<input type="text"/>	認定番号	<input type="text"/>
	氏名	<input type="text"/>	登録番号	<input type="text"/>	認定番号	<input type="text"/>
	氏名	<input type="text"/>	登録番号	<input type="text"/>	認定番号	<input type="text"/>

以上の医師・臨床工学技士が常勤し、心臓血管外科手術に従事していることを証明します

施設名

施設長氏名

公印

心臓血管外科筆頭論文一覧表(修練責任者用)

施設名

修練責任者氏名

印

No.	公刊年／巻／頁	題名・書名	誌名・出版社
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

論文は査読制度のある全国誌以上のもの5編以上が必要です。
内容のわかる別刷あるいはコピーを必ず添付して下さい。掲載証明書は認めません。

手術経験表(修練責任者用) No.1

施設名

修練責任者氏名

印

No.	難易度別カテゴリーNo.	手術名	手術施行施設名	手術日 年/月/日
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

- ① 術者として心臓血管外科手術経験100例以上が必要です。
- ② 術者名のついた手術記録コピーを添付して下さい。(手術記録コピーは患者名等個人のわかるものは消すこと)
- ③ 最近の症例から遡り記録して下さい。
- ④ なお、手術の内容は手術術式難易度(A)(B)(C)にあげられているものとします。難易度別カテゴリーNo.は、A-1, C-1のように記載して下さい。
- ⑤ 症例が2項目以上の手術に該当する場合であっても1症例を2例として計算しない。

手術経験表(修練責任者用) No.2

施設名

修練責任者氏名

印

No.	難易度別カテゴリーNo.	手術名	手術施行施設名	手術日 年/月/日
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				
51				
52				
53				
54				
55				
56				
57				
58				
59				
60				

- ① 術者として心臓血管外科手術経験100例以上が必要です。
- ② 術者名のついた手術記録コピーを添付して下さい。(手術記録コピーは患者名等個人のわかるものは消すこと)
- ③ 最近の症例から遡り記録して下さい。
- ④ なお、手術の内容は手術術式難易度(A)(B)(C)にあげられているものとします。難易度別カテゴリーNo.は、A-1, C-1のように記載して下さい。
- ⑤ 症例が2項目以上の手術に該当する場合であっても1症例を2例として計算しない。

手術経験表(修練責任者用) No.3

施設名

修練責任者氏名

印

No.	難易度別カテゴリーNo.	手術名	手術施行施設名	手術日 年/月/日
61				
62				
63				
64				
65				
66				
67				
68				
69				
70				
71				
72				
73				
74				
75				
76				
77				
78				
79				
80				
81				
82				
83				
84				
85				
86				
87				
88				
89				
90				

- ① 術者として心臓血管外科手術経験100例以上が必要です。
- ② 術者名のついた手術記録コピーを添付して下さい。(手術記録コピーは患者名等個人のわかるものは消すこと)
- ③ 最近の症例から遡り記録して下さい。
- ④ なお、手術の内容は手術術式難易度(A)(B)(C)にあげられているものとします。難易度別カテゴリーNo.は、A-1, C-1のように記載して下さい。
- ⑤ 症例が2項目以上の手術に該当する場合であっても1症例を2例として計算しない。

手術経験表(修練責任者用) No.4

施設名

修練責任者氏名

印

No.	難易度別カテゴリーNo.	手術名	手術施行施設名	手術日 年/月/日
91				
92				
93				
94				
95				
96				
97				
98				
99				
100				
101				
102				
103				
104				
105				
106				
107				
108				
109				
110				
111				
112				
113				
114				
115				
116				
117				
118				
119				
120				

- ① 術者として心臓血管外科手術経験100例以上が必要です。
- ② 術者名のついた手術記録コピーを添付して下さい。(手術記録コピーは患者名等個人のわかるものは消すこと)
- ③ 最近の症例から遡り記録して下さい。
- ④ なお、手術の内容は手術術式難易度(A)(B)(C)にあげられているものとします。難易度別カテゴリーNo.は、A-1, C-1のように記載して下さい。
- ⑤ 症例が2項目以上の手術に該当する場合であっても1症例を2例として計算しない。

手術症例数(施設用)難易度(A)用

施設名

基幹施設 関連施設 (どちらかに○印をつけてください)

修練責任者氏名

印

難易度別カテゴリーNo.	カテゴリー	手術名	年	年	年
			件数	件数	件数
A1	先天性心疾患	(1)PDA手術			
		(2)ASD閉鎖術			
		(3)VSD(肺動脈弁下型)閉鎖術			
		(4)肺動脈弁切開術			
A2	弁膜症	(1)三尖弁形成術			
		(2)房室弁交連切開術			
A3	その他の心疾患手術	(1)心膜切開/開窓術			
		(2)肺静脈隔離術			
A4	動脈	(1)動脈血栓摘除術			
		(2)下肢の非解剖学的バイパス術			
		(3)末梢動脈瘤手術			
		(4)経皮的血管形成術			
A5	静脈	(1)静脈血栓摘除術			
A6	その他の血管系手術	(1)動静脈シャント作成術			
A7	これに準ずる手術				
合 計					
総 合 計					

手術症例数(施設用)難易度(B)用

施設名

基幹施設

関連施設

(どちらかに○印をつけてください)

修練責任者氏名

印

難易度別カテゴリーNo.	カテゴリー	手術名	年	年	年
			件数	件数	件数
B1	先天性心疾患	(1)体-肺動脈短絡術			
		(2)肺動脈絞扼術			
		(3)CoA手術			
		(4)VSD(膜様部/筋性部型)閉鎖術			
		(5)PAPVR修復術			
		(6)AVSD(partial)修復術			
		(7)バルサルバ洞動脈瘤手術			
		(8)DCRV手術			
		(9)右室流出路形成術			
		(10)大動脈弁切開術			
		(11)冠状動脈瘻手術			
		(12)両方向性Glenn手術			
B2	弁膜症	(1)大動脈弁置換術			
		(2)僧帽弁置換術			
		(3)その他単弁置換術			
B3	虚血性心疾患	(1)CABG(1枝)			
B4	その他の心疾患手術	(1)心臓腫瘍摘出術			
		(2)収縮性心膜炎手術			
		(3)Maze手術			
B5	大動脈	(1)上行大動脈置換術			
		(2)下行大動脈置換術			
		(3)腹部大動脈置換術			
		(4)ステントグラフト内挿術			
B6	動脈	(1)膝関節以上の血行再建術			
		(2)上肢の血行再建術(鎖骨下動脈を含む)			
		(3)破裂性末梢動脈瘤手術			
B7	静脈	(1)末梢静脈血行再建術			
B8	その他の血管系手術	(1)血管外傷手術			
		(2)胸郭出口症候群			
		(3)リンパ浮腫手術			
B9	これに準ずる手術				
合 計					
総 合 計					

手術症例数(施設用)難易度(C)用

施設名

基幹施設 関連施設 (どちらかに○印をつけてください)

修練責任者氏名 印

難易度別カテゴリーNo.	カテゴリー	手術名	年	年	年
			件数	件数	件数
C1	先天性心疾患	(1)TOF修復術			
		(2)TGA手術			
		(3)DORV手術			
		(4)TAPVR手術			
		(5)AVSD(Complete)手術			
		(6)Fontan型手術			
		(7)Truncus手術			
		(8)Ebstein病手術			
		(9)Norwood手術			
		(10)大動脈弁上/弁下狭窄手術			
		(11)冠状動脈起始異常手術			
		(12)CoA(Complex)/IAA手術			
		(13)末梢肺動脈形成術			
		(14)Ross手術			
C2	弁膜症	(1)僧帽弁形成術			
		(2)大動脈弁形成術			
		(3)複合弁手術			
		(4)大動脈弁輪拡大術			
		(5)大動脈基部再建術			
C3	虚血性心疾患	(1)CABG(2枝以上)			
		(2)心筋梗塞合併症手術			
C4	その他の心疾患手術	(1)肺動脈血栓除去術			
		(2)心室頻拍手術			
		(3)左室形成術			
		(4)人工心臓装着術			
C5	大動脈	(1)弓部大動脈置換術			
		(2)胸腹部大動脈置換術			
		(3)腎動脈遮断を伴う腹部大動脈手術			
		(4)大動脈解離手術			
		(5)感染性/炎症性腹部大動脈瘤手術			
		(6)破裂性大動脈瘤手術			
		(7)異型CoA手術			
		(8)分枝再建を伴うステントグラフト内挿術			
C6	動脈	(1)膝関節以下の血行再建術			
		(2)頸動脈内膜摘除術			
		(3)椎骨動脈血行再建術			
		(4)腹部内臓動脈血行再建術(含腎動脈)			
C7	静脈	(1)大静脈血行再建術			
C8	これに準ずる手術				
合 計					
総 合 計					

